

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センターでいじい		公表日		令和8年 1月 24日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境 体制・ 整備 運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	1	0	絵カード的な支援ツールや、障害の理解や支援方法についてのレポートを使用することもある。		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	0		これ以上契約者が増えると厳しい。	
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	1	0	多くの職員研修でPDCAサイクルの内容が周知されている。		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	0	評価表の結果を分析し、今後の支援の改善に繋げていきます。		
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	0	ミーティングの際に職員が意見を出し合っている。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	0		第三者委員会の方と関わる機会が少ない。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	1	0	必要性や希望に応じて、勤務を調整して確保している。		
適切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	1	0	アセスメントとニーズや課題の分析に時間をかけている。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	1	0	訪問支援に携わる職員が中心となり作成している。	訪問に行かない職員も参加した支援会議を心がけます。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	1	0	必ず、担任等の意向を取り入れている。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	1	0	訪問支援を行わない職員も、送迎の際に受け答えできるよう、情報共有をしている。		
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	1	0		フォーマルなアセスメント、インフォーマルなアセスメントを現在作成中。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	1	0	ガイドラインに沿って、支援内容を設定している。		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	1	0			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	1	0	朝礼で確認を行っている。	出勤時間にズレがある職員との十分な共有が課題。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	0	訪問記録の回覧し、質問したり、意見の交換をしている。		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	1	0	訪問先の理念や支援を尊重した上で、助言を行うようにしている。		
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	1	0	訪問記録と保護者へのケア記録は必ず残している。			

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	1	0	定期的にモニタリングを行い、保護者や訪問先の意向を支援計画の見直しに繋げている。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	1	0	担当者会議には、訪問支援員以外に、児童発達支援で支援に関わっている職員が参加する事もある。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	0	状況に応じて、社会福祉課や園の保育コーディネーターさんにも連携をしている。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	0	保護者と園にサポートファイルについて、丁寧な説明を行ったうえで作成し、支援内容を小学校へ繋いでいる。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	1	0	必須の研修は法人主体で開催しており、全員が参加できるよう勤務を調整している。各職員の希望や必要性に応じて、外部の研修にも参加している。外部研修の際には研修に参加できない職員に対しても書面で内容を共有できるように努めている。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	1	0	自立支援協議会子ども支援部会へは、児発管が管理者が毎回出席している。協議会が開催する研修にも参加して意見交換を行っている。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	1	0	ケア記録で、訪問時の様子を報告している。その際に、成長が見られた点や課題についても触れ、共通理解を図っている。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	0	年2回のペアメンCaféの会場提供と、開催の周知を行っている。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	1	0	契約時に、一通りの説明を行っている。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	1	0	訪問支援開始時だけでなく、訪問先から質問があった際は、丁寧に説明している。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	1	0	支援員の目線ではなく、本人と家族の意思が尊重された計画作成を目指している。	こどもからの意向の聞き取りが難しい場合も、保護者の意向だけに偏り過ぎないように心がけます。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	1	0	支援内容の説明の際、不明点や質問にも丁寧に説明し、署名をいただいている。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	1	0	悩み等の相談には、適切な助言と、必要であれば訪問の回数を増やすなどして対応している。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	1		保育所等訪問支援を通して、保護者会やきょうだい児支援は行ってない。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	1	0	相談の申し入れがあった場合、速やかに面談の時間を設けるなど、対応している。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	1	0	随時、SNS等で活動内容を発信している。グループLINEの活用で連絡体制をスムーズに出来るようにしている。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	1	0	イニシャルを使って表記したり、個人情報に関するものは、鍵付きの書庫で保管している。	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	1	0	必要に応じて、イラストを使用したり、外国語に翻訳するなどの配慮をしている。	
訪問先施設への	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	1	0	相談の内容によっては、レポート形式で助言を行っている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	1	0	担任の先生や加配の先生、管理職の先生と情報共有の時間を設けている。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	1	0	訪問の度に、ケア記録で、訪問時の様子を報告している事を、説明している。	

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	1	0	訪問時、対象の利用児童以外のこどもに関して、見聞きしたことは守秘義務で守られることを説明している。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	1	0	信頼関係ありきなので、訪問先の理念や支援を尊重した上で、助言を行うようにしている。	保育所等訪問支援の理解や信頼関係の構築が、まだまだこれからの施設もある。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	0	各種マニュアルを作成し、いつでも閲覧できるよう玄関に設置している。	訓練等の取り組みについても周知をしています。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	1	0	作成した安全計画に基づき、定期的な点検、研修、訓練を行っている。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	1	0		些細なことでも報告検討し合える職場の雰囲気作りをしています。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	1	0	法人内の研修だけでなく、外部の研修にも職員を参加させている。研修を通して意識を高め、職員同士が日々点検し合いながら、虐待防止に努めている。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	1	0	契約時に、身体拘束についての説明を必ず行っている。	